

# 名古屋市見晴台考古資料館 **年報**41

---

2023(令和5)年度事業報告

2024

名古屋市見晴台考古資料館

## 2023（令和5）年度

### I 事業概要

#### 1 展示

##### （1）本館常設展

###### 「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」

会期：通年

展示日数：297日

利用者数：22,180人

内容：見晴台遺跡について詳しく知ることができるよう、見晴台の歴史を、時代を追って紹介。見晴台で暮らした人々をテーマに、主に衣食住に関する出土品を展示。昭和時代では、笠寺高射砲陣地から見つかったアメリカ軍爆撃機 B29のジュラルミン破片も展示。また、弥生時代の展示コーナーに模型「春の採集」・「夏の復旧」・「秋の収穫」・「冬の狩人」4点を展示。

展示点数：148点



「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」展示風景

##### （2）住居跡観察舎パネル展「原始・古代の住居」

会期：通年

展示日数：296日

利用者数：22,106人

内容：原始・古代の建物である竪穴住居や高床倉庫、祭殿などについて、床（生活面）を持ち上げる高床式と、そうではない竪穴式（平地式）の2通りに分けて紹介。それぞれの様式の利点はどこにあるのか、現在見ることができる建物からアプローチした展示。

※住居跡観察舎は竪穴住居撤去のため、2月28日に閉鎖した。



パネル展「原始・古代の住居」展示風景

##### （3）住居跡観察舎パネル展

###### 「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」

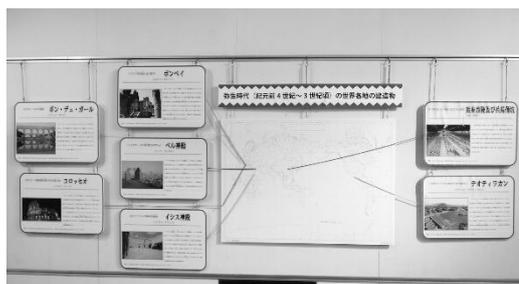
会期：通年

展示日数：296日

利用者数：22,106人

内容：見晴台に竪穴住居が造られた弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物をパネルで紹介。

※住居跡観察舎は竪穴住居撤去のため、2月28日に閉鎖した。



パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」展示風景

##### （4）本館第1回企画展「南区の遺跡」展

会期：令和5年3月29日（水）～6月25日（日）

展示日数：75日

利用者数：5,305人

内容：南区に所在する遺跡から、桜本町遺跡・桜神明社古墳・曾池遺跡を中心に、土師器・埴輪・須恵器などを紹介。

展示点数：37点（このうち5点が模型）

##### （5）本館第2回企画展「緑区の遺跡」展

会期：7月1日（土）～9月18日（月/祝）

展示日数：67日

利用者数：2,814人

内容：今年で誕生60周年の緑区には、170か所の遺跡が所在する。緑区に所在する清水寺遺跡はじめ11遺跡を展示。

展示点数：163点

##### （6）本館第3回企画展「弥生時代のナゴヤー高蔵遺跡・瑞穂遺跡・三王山遺跡」展

会期：10月1日（日）～1月21日（日）

展示日数：89日  
利用者数：8,115人

内容：名古屋市域の弥生時代を紹介する展示。本展示では台地・丘陵に立地する、高蔵遺跡・瑞穂遺跡・三王山遺跡を紹介。

展示点数：42点

**(7) 本館第4回企画展「弥生時代のナゴヤ朝日遺跡・堀越町遺跡・西志賀遺跡」展**

会期：1月27日（土）～3月20日（水/祝）

展示日数：45日

利用者数：4,753人

内容：濃尾平野に立地する朝日遺跡、堀越町遺跡、西志賀遺跡から出土した土器や土製品、骨角器、石器などを紹介。

展示点数：44点



「弥生時代のナゴヤ朝日遺跡・堀越町遺跡・西志賀遺跡」

展 展示風景

**(8) 本館ロビー展「笠寺台地の土地利用の変遷」展**

会期：令和5年2月15日（水）～6月25日（日）

展示日数：109日

利用者数：7,828人

内容：空中写真と地形図から笠寺台地の変化を紹介。

展示点数：9点

**(9) 本館ロビー展「尾張徳川家の墓所と名古屋城の御霊屋」展**

会期：4月1日（土）～6月25日（日）

展示日数：72日

利用者数：4,824人

内容：尾張徳川家の墓所で発掘した藩主の棺の一部と、徳川家の歴代将軍を祀った御霊屋の瓦を紹介。

展示点数：30点（このうち5点がパネル）

**(10) 本館ロビー展「ガラス瓶の魅力」展**

会期：7月1日（土）～9月24日（日）

展示日数：72日

利用者数：3,262人

内容：発掘調査で出土したビール瓶、インク瓶、目薬瓶などを展示。

展示点数：41点

**(11) 本館ロビー展「八十年前の南区」展**

会期：7月1日（土）～1月8日（月/祝）

展示日数：154日

利用者数：11,093人

内容：昭和前期に撮影された南区の空中写真パネルを展示。

展示点数：パネル6点

**(12) 本館ロビー展「猪鹿鳥」展**

会期：10月1日（日）～2月12日（月/祝）

展示日数：107日

利用者数：9,933人

内容：人の暮らしと動物の関わりを、発掘調査で出土した動物骨・器に描かれた動物・土人形などから考える展示。

展示点数：19点

**(13) 本館ロビー展「笠寺台地の遺跡分布とハザードマップ」展**

会期：令和6年2月16日（金）～6月23日（日）

展示日数：107日

利用者数：10,091人

内容：ハザードマップによると、笠寺台地の周辺は標高が低いため、津波や洪水により水没するおそれがある。笠寺台地の遺跡分布を知ること、避難場所を知ingことを目的とした。

展示点数：パネル7点

**(14) 本館ロビー展「瓦ざんまい—尾張元興寺跡の出土品から—」展**

会期：令和6年2月16日（金）～6月23日（日）

展示日数：107日

利用者数：10,091人

内容：尾張元興寺跡から出土した瓦を紹介。

展示点数：8点

**(15) 本館ロビー展「名古屋市見晴台考古資料館×SDGs  
なごや環境大学」**

会期：1月19日（金）～3月31日（日）

展示日数：60日

利用者数：5,660人

内容：「なごやSDGs街」の参加施設としてパネルを展示。当館はSDGsの「4 質の高い教育をみんなに」「11 住み続けられるまちづくりを」「16 平和と公正をすべての人に」に該当する。昔の人々の遺産を通して、自然との共存や平和の大切さを学んでもらうことを目的とした。  
展示点数：パネル2点

**(16) 本館ロビー展「イッピン展」**

会期：月毎

展示日数：297日

利用者数：22,180人

内容：名古屋市内の発掘調査で出土した遺物のなかから、一点を選び毎月紹介。

- 4月：土偶の顔
- 5月：線刻紋土器
- 6月：貨泉
- 7月：銅鏡（破鏡）
- 8月：花文有筋四耳壺
- 9月：染付吹墨月兔図皿
- 10月：白磁碗
- 11月：土鍋
- 12月：灰釉手付水注
- 1月：蓮華文軒丸瓦
- 2月：須恵器 長頸瓶
- 3月：磁器 浅鉢

**(17) 地域連携「桜田中学校美術展」**

会期：1月13日（土）～2月12日（月/祝）

展示日数：26日

利用者数：2,260人

内容：桜田中学校の生徒が制作した、美術の優秀作品を展示。  
展示点数：41点

**(18) さわってみようコーナー**

会期：通年

展示日数：297日

内容：見晴台遺跡出土の弥生土器片に触れるコーナー。

**2 教育普及**

**(1) 月例映画会**

毎月第3土曜日に歴史や文化に関連した映画を上映した。

参加者数：延186人

4月15日 参加者：8人

日本の記録23 「月に立った人類」

5月20日 参加者：12人

日本の記録24 「沖縄復帰」

6月17日 参加者：28人

日本の記録25 「田中角栄とその時代」

7月15日 参加者：11人

日本の記録26 「ロッキード事件」

8月19日 参加者：15人

日本の記録27 「石油危機をこえて」

9月16日 参加者：9人

日本の記録28 「対立と混迷」

10月21日 参加者：13人

日本の記録29 「劇場犯罪そしてバブル」

11月18日 参加者：20人

日本の記録30 「昭和の終焉」

12月16日 参加者：13人

日本の記録31 「平成の憂鬱」

1月20日 参加者：12人

日本の記録32 「飽食の果て」

2月17日 参加者：20人

日本の記録33 「漠たる不安」

3月16日 参加者：25人

映像の世紀第11集 「JAPAN 世界が見た明治・大正・昭和」

**(2) 団体利用（「見晴台遺跡と弥生時代」映画上映や  
展示解説など）**

4月15日	NHK文化講座	12人
4月28日	桜小学校6年生（南区）	60人
4月28日	野並小学校6年生（天白区）	81人
5月2日	春日野小学校6年生（南区）	64人
6月1日	呼続小学校6年生（南区）	61人
6月6日	生涯学習センター講座（南区）	18人
6月7日	よびつぎこども園 3歳児クラス	43人
6月13日	中日文化センター講座	22人
6月16日	高射砲愛好会	3人
6月23日	平子小学校6年生（緑区）	78人
6月28日	笠寺小学校6年生（南区）	85人

7月4日	笠東小学校6年生(南区)	64人
7月8日	デイサービス アイナ	20人
7月12日	デイサービス こま	10人
7月15日	立命館大学	21人
7月26日	桜台高校・菊里高校夏期講習	12人
9月12日	二火会	32人
10月6日	名古屋経済大学市邨中学校	6人
10月8日	やっとかめ文化祭 やっとかめ大使	8人
10月12日	さくらのもり保育園	17人
10月18日	生活介護 こま	13人
10月20日	東海電旧友会 名古屋支部	10人
10月25日	大府長寿会	19人
11月2日	笠寺幼稚園	178人
11月12日	美夫君志会	26人
11月16日	東海鉄道OB会名古屋東支部	21人
11月21日	オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター	11人
11月23日	オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター	7人
11月24日	オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター	12人
11月25日	オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター	7人
11月25日	東レ労働組合OB会	40人
11月29日	鯉城学園大学	37人
11月29日	オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター	8人
12月1日	鯉城学園大学	29人
12月9日	オレンジタウン笠寺 デイサービスセンター	8人
12月14日	ゆたか作業所	12人
1月14日	大ナゴヤツアーズ	10人
1月16日	ひこばえ社中	25人
1月24日	学校法人南山学園 南山中学校(男子部) 1年生	3人
1月31日	デイフィットネス りめいく	9人
2月7日	介護老人保健施設セントラル内田橋	11人
2月8日	鯉城学園大学	50人
3月5日	緑区地域力推進室	44人
3月12日	アップビート インターナショナルスクール (小学部)	8人
3月16日	あま市歴史ボランティアガイドの会	14人

### (3) 職場訪問

12月12日	鳴子台中学校2年生(緑区)	5人
2月1日	川名中学校1年生(昭和区)	6人

### (4) 刊行物

『名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第18号』  
A4版 63頁 500部  
『令和5年度 名古屋市見晴台考古資料館 展示の記録』  
A4版 14頁 500部  
「名古屋市南区見晴町 見晴台遺跡」  
A5版 14頁 1000部  
「見晴台遺跡カード」  
全8種類 3,200枚  
「弥生の御朱印巡り」御朱印紙  
2,000枚  
※「弥生の御朱印巡り」の詳細は5頁参照。



見晴台遺跡カード 「01 見晴台遺跡」

### (5) 講演会

#### ●「古墳時代あゆみあゆみの港を探る」

期日：5月27日(土)/6月17日(土)  
会場：名古屋市見晴台考古資料館  
講師：伊藤厚史(当館学芸員)  
参加者：57名/20名

#### ●「笠寺の生活道路は歴史の道」

期日：7月16日(日)  
主催：笠寺学区公民会  
会場：南区役所  
講師：伊藤厚史(当館学芸員)

#### ●「戦争遺跡を学ぶ 高射砲陣地跡」

期日：9月23日(土)  
会場：名古屋市見晴台考古資料館  
講師：伊藤厚史(当館学芸員)  
参加者：34名

●「弥生時代のナゴヤー弥生時代尾張の地域的特色」

期日：10月28日（土）

会場：名古屋市見晴台考古資料館

講師：村木誠（名古屋城調査研究センター副所長）

参加者：28名



講演会「弥生時代のナゴヤー弥生時代尾張の地域的特色」の様子

(6)「ほっとできる場所」宣言

期日：8月22日（火）～9月30日（土）

内容：子どもをはじめとした市民の皆様へ、安全で安心して過ごせる居場所の選択肢のひとつとして各種の社会施設があることを、夏休み明けを迎えるタイミングで周知したものを、当館も参加施設の一つとして協力した。また、期間中は展示室にて映画「見晴台遺跡と弥生時代」を上映した。

3 地域連携

(1) ウォーキング（遺跡めぐり・まち歩き）

●「鶴舞公園ガイドツアー 八幡山古墳歴史散歩」

期日：5月6日（土）

主催：鶴舞公園名古屋市緑化センター

案内：伊藤厚史（当館学芸員）

●「ブラカサデラ」

期日：5月13日（土）

主催：笠寺学区公民会

案内：伊藤厚史（当館学芸員）

(2)「あらたま繋がり Weeek !」

会期：9月6日（水）～9月12日（火）

会場：イオンモール新瑞橋

内容：見晴台遺跡出土の弥生土器4点や貝殻などを展示。展示を通して昔の地域の暮らしや発掘について学ぶことを目的とした。

(3)「市バス・地下鉄101か所スタンプラリー」

会期：9月8日（金）～12月7日（木）

主催：名古屋市交通局

内容：市営交通が101周年に入ったことにちなみ、地下鉄全駅87か所と市バス沿線の施設等14か所の計101か所をめぐるスタンプラリーで、スタンプポイントとして協力した。

(4)「春日野学区17町内クイズ de ウォークラリー」

会期：10月1日（日）～11月30日（木）

主催：春日野学区連絡協議会

内容：春日野学区の17の町内をめぐるウォークラリーで、貝塚町のクイズの一つとして協力した。

(5)「みなみくるとデジタルスタンプラリー」

会期：10月4日（水）～11月26日（日）

主催：南区役所

内容：モバイル端末上で位置情報サービス（GPS）を利用して各スポットのスタンプを取得するデジタルスタンプラリーにて、南区の「名所」スポットの一つとして協力した。

(6)「弥生の御朱印巡り」

開始日：10月7日（土）

企画：鳥取県 とっとり弥生の王国推進課

内容：弥生時代関連26遺跡と29施設を巡り、各地の御朱印を取得するイベントにて、参加施設の一つとして協力した。見晴台遺跡の御朱印を考案し、希望者に配布した。配布枚数：274枚

(7) 南区民まつり2023

期日：11月12日（日）

主催：南区区民まつり実行委員会

会場：日本ガイシスポーツプラザ

内容：会場にてポスターを掲示したほか、チラシ・パンフレットを配布した。来場者へは見晴台遺跡出土の弥生土器片に触る「さわってみようコーナー」を用意した。

(8) 2023-2024冬 駅から始まるヒラメキさんぽ

会期：12月1日（金）～1月3日（水）

主催：名古屋市交通局

内容：ウォーキングの合間に問題を解きながら、歴史を感じる場所や魅力あるスポットを歩くイベント。「遺跡・古墳・貝塚から古代の人々の生活を感じるコース」にて、見晴台遺跡に関する問題が出題された。

**(9) 名鉄のハイキング電車沿線コース**

会期：2月3日（土）～2月4日（日）

主催：名古屋鉄道株式会社

内容：名古屋鉄道の沿線の観光施設をめぐるハイキングにて、立ち寄り箇所として協力した。

**(10) 見晴台考古資料館梅まつり**

会期：2月24日（土）～2月25日（日）

主催：見晴台考古資料館梅まつり実行委員会

後援：南区役所・南土木事務所

運営：株式会社エイティーズ

内容：梅まつりに開催するイベントの一つとして協力した。「学芸員と考古資料館を探検してみよう！」にて、当館学芸員によるバックヤード探検・竪穴住居探検を行った。

## II 利用状況

### 1 利用者数など

#### (1) 展示会別利用者数

会場	展示会名	会期	日数	入場者数	一日平均
本館展示室	常設展「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」	通年	297日	22,180人	75人
	第1回企画展「南区の遺跡」展	3月29日～6月25日	75日	5,305人	71人
	第2回企画展「緑区の遺跡」展	7月1日～9月18日	67日	2,814人	42人
	第3回企画展「弥生時代のナゴヤー高蔵遺跡・瑞穂遺跡・三王山遺跡－」展	10月1日～1月21日	89日	8,115人	91人
	第4回企画展「弥生時代のナゴヤー朝日遺跡・堀越町遺跡・西志賀遺跡－」展	1月27日～3月20日	45日	4,753人	106人
本館ロビー	イッピン展 ※1	月毎	297日	22,180人	75人
	「笠寺台地の土地利用の変遷」展 ※2	2月15日～6月25日	109日	7,828人	72人
	「尾張徳川家の墓所と名古屋城の御霊屋」展	4月1日～6月25日	72日	4,824人	67人
	「ガラス瓶の魅力」展	7月1日～9月24日	72日	3,262人	45人
	「八十年前の南区」展	7月1日～1月8日	154日	11,093人	72人
	「猪鹿鳥」展	10月1日～2月12日	107日	9,933人	93人
	「笠寺台地の遺跡分布とハザードマップ」展 ※3	2月16日～6月23日	107日	10,091人	94人
	「瓦ざんまい－尾張元興寺跡の出土品から－」展 ※4	2月16日～6月23日	107日	10,091人	94人
住居跡観察舎	パネル展「原始・古代の住居」※5	通年	296日	22,106人	75人
	パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」※6	通年	296日	22,106人	75人

※1 イッピン展は本館ロビーにて開催。毎月一点を紹介した。

※2 「笠寺台地の土地利用の変遷」展は令和5年2月15日から開催。会期全体の日数・入場者数・一日平均を提示した。

※3・4 「笠寺台地の遺跡分布とハザードマップ」展・「瓦ざんまい－尾張元興寺跡の出土品から－」展は令和6年6月23日まで開催。会期全体の日数・入場者数・一日平均を提示した。

※5・6 住居跡観察舎は竪穴住居撤去のため、2月28日に閉鎖した。

#### (2) 月別利用者数

月	開館日数	入館者数			一日平均	団体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人員
	日	人	人	人	人	件	人
4月	25	1,200	808	2,008	80	3	153
5月	25	1,048	553	1,601	64	1	64
6月	25	787	615	1,402	56	7	310
7月	25	735	373	1,108	44	5	127
8月	26	705	142	847	33	0	0
9月	25	1,351	217	1,568	63	1	32
10月	25	2,078	537	2,615	105	6	73
11月	25	2,121	906	3,027	121	10	347
12月	23	1,254	358	1,612	70	4	54
1月	23	1,004	225	1,229	53	4	47
2月	24	2,679	704	3,383	141	3	67
3月	26	1,424	356	1,780	68	3	66
合計	297	16,386	5,794	22,180	75	47	1,340



(2) 分室（西館）

項目	内容
構造	軽量鉄骨造平屋建
建築面積	148㎡
概要	遺物整理作業展示室として、1996（平成8）年から使用開始。

公園内の関連施設

見晴台考古資料館のある笠寺公園は、「遺跡のある公園」として名古屋市緑政土木局によって整備され、遺跡にかかわるいくつかの施設が設置されている。

施設名	概要	構造	備考
住居跡観察舎	発掘調査によって出土した状態が見学できる施設。内部には遺構の型取りによる原寸大の住居跡の複製を設置し、住居跡のうち1軒を推定復元。1988（昭和63）年6月15日公開。	鉄骨造平屋建 面積365㎡	復元住居は経年変化で傾きがひどくなったため、2013（平成25）年10月に取り壊し。2014（平成26）年10月市民参加による「竪穴式住居復元プロジェクト」にて再構築を行った。
濠再現コーナー	資料館南側の弥生時代の濠跡が道路によって寸断されていた地点に、遺構保存のための土留め壁を兼ねて、濠の断面を原寸大に復元。1989（平成元）年4月5日公開。	コンクリート・モルタル・ 表面擬土・アスファルト	濠の大きさは幅およそ5m、深さおよそ4m
弥生の森	弥生時代の生活に関係の深い樹木を、都市緑化の推進と弥生時代の学習に役立てるために植栽。1989（平成元）年4月5日公開。		樹木（141本）の種類はヤマモモ・スタジイなど

IV 組織

組織

